



農林中央金庫

NORINCHUKIN

2024年12月16日

農林中央金庫

## 森林ファンド Manulife Forest Climate Fund への出資について

農林中央金庫(代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」)は、森林を投資対象とするファンドにおいて業界最大規模の運用額を誇る Manulife Investment Management Timberland and Agriculture Inc. (以下「MIMTA」)が運営する、米国が投資地域の中心となる森林ファンド「Manulife Forest Climate Fund(以下「本ファンド」)」と出資契約を締結しましたのでお知らせいたします。

### ○出資の背景

世界的な脱炭素化の潮流、自然資本・生物多様性を巡る課題の認知が進むなか、官民ともにカーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、そしてサーキュラーエコノミーの実現に向けた取組みが加速しております。農林水産業に立脚し、グローバルに投融資を行う当金庫は、投融資を通じて地球と地域が直面しているこれらの課題の解決に貢献し、持続可能な環境・社会・経済の実現に取り組んでいます。

MIMTAは森林投資における業界最大規模を誇るファンドマネージャーであり、本ファンドについてもMIMTAの持つ豊富な知見や経験に基づき、森林が適切かつ効率的に管理・運営され、CO<sub>2</sub>吸収のみならず、生物多様性や水資源の保護、地域の雇用創出といった効果が期待されております。

当金庫は本ファンドへの出資を通じて、カーボンニュートラルおよびネイチャーポジティブの実現等に寄与するだけでなく、森林経営の効率化・高度化、およびカーボンクレジットに関する知見を獲得することで、国内林業の発展に資する取組みを模索していきます。

引き続き、当金庫は、サステナブル経営の取組みや本出資を通じて、農林水産業の発展と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### ○出資先について

名 称：Manulife Forest Climate Fund

運用会社：Manulife Investment Management Timberland and Agriculture Inc.

本 拠 地：米国（ボストン）

本ファンドは木材販売等の林業収入のみならず、森林を適切に管理・運営し炭素貯留量を最大化することによりカーボンクレジットを創出することを主目的に投資を行う点が特徴です。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班

(宮澤・藏方) TEL：03-6362-7172